

中学地理プリント（書き取り）
日本の資源と産業

名前

得点

/20

- 問1 1980年代に、日本から自動車や半導体などが大量に輸出されたことで生じた国際的な不釣り合いを何という？
- 問2 稚魚や稚貝を人の手で育ててから海に放流し、成長してから捕獲する手法を何という？
- 問3 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？
- 問4 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？
- 問5 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？
- 問6 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？
- 問7 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？
- 問8 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？
- 問9 日本企業が海外の工場建設や現地法人設立のために資金を投入することを何という？
- 問10 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？
- 問11 太平洋ベルトを中心に発展し、日本の主要な輸出製品を製造している産業分野を何という？
- 問12 自然の海や川で魚を捕るのではなく、人の手で育ててから収穫する手法を何という？
- 問13 長野県に位置し、夏に涼しい気候を生かしたレタスなどの生産が盛んな高原地帯はどこ？
- 問14 天然の資源を保護しつつ安定した供給を行うために、養殖業と組み合わせて取り組まれる手法を何という？
- 問15 深刻な公害問題を乗り越え、現在は環境技術や資源循環を活かした街づくりに取り組む都市を何という？
- 問16 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？
- 問17 促成栽培が盛んで、京浜や京阪神といった大都市へ野菜を出荷している四国の県はどこ？
- 問18 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？
- 問19 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？
- 問20 製品の素材を加工して部品を作り、それを組み立てて製品を完成させるタイプの工業を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 貿易不均衡	しかし、日本からの輸出が急増しすぎること、輸入相手国との間で「貿易不均衡」が生じました。特にアメリカの間では激しい摩擦（貿易摩擦）となり、日本の製品に対する関税の引き上げや、輸出の自主規制などが求められる事態となりました。
問2	答え 栽培漁業	栽培漁業は、人工孵化させた稚魚や稚貝を、ある程度大きくなるまで飼育し、その後海に放流する手法です。自然界で成長した個体を捕獲するため、天然に近い状態で水揚げできるのが特徴です。【概要】マダイやヒラメ、クルマエビなどで盛んに行われており、日本の水産資源の維持と安定供給に大きく貢献しています。
問3	答え 地熱発電	「地熱発電」は、地下から取り出した蒸気でタービンを回転させて電気を作ります。天候や昼夜に左右されず、安定した発電が可能なベースロード電源として注目されています。東北や九州地方を中心に、国立公園などの地熱資源が豊富な場所で主に導入されています。
問4	答え 太平洋側	促成栽培とは、気温の高い地域や施設を利用して、野菜の収穫時期を通常より早める技術です。冬に収穫できることで市場価格が高くなりやすい時期に出荷できるため、農家の収益向上にもつながります。
問5	答え 先端技術産業	先端技術産業は、研究開発力や優秀な人材を必要とします。そのため、大学や研究機関が近く、生活環境の整った大都市圏や、その周辺に本社や研究所を設置する企業が増えています。
問6	答え 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いため、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問7	答え 現地生産	「現地生産」は、製品を売る国の中で工場を運営する方式です。これにより、相手国の雇用を増やし、物流コストを抑えることができます。特に自動車産業では、日本メーカーがアメリカや欧州に大規模な工場を次々と建設しました。
問8	答え 太平洋側	太平洋ベルトと呼ばれるこの地域には、京浜や阪神などの主要な工業地帯が並んでいます。気候が温暖で人口も多く、巨大な消費地と生産地が近接しているため、工業の発展には非常に有利な条件が揃っていました。
問9	答え 直接投資	「直接投資」とは、単なる証券投資とは異なり、海外で現地生産のための拠点を設けるような経済活動を指します。これにより、現地での雇用創出や技術移転が行われる一方、国内での生産活動が減少するという側面も持ち合わせています。
問10	答え 企業城下町	企業城下町とは、ある大企業の工場が町の経済や雇用を支える中心となっている都市を指します。雇用が安定し、地域経済がその企業に依存する一方で、インフラ整備などが進むという特徴があります。
問11	答え 自動車工業	自動車工業は、鉄鋼、機械、電気など数多くの関連産業から成り立つ「すそ野の広い産業」です。多くの部品を港に近い工場を組み立て、完成車として世界へ輸出する体制が整っています。
問12	答え 養殖業	養殖業は、海や川に生け簀（いけす）などを設置し、餌を与えて魚介類を育てます。天然の資源量に左右されず、時期を調整して出荷できるため、経済的に非常に重要な産業となっています。
問13	答え 野辺山高原	野辺山高原は長野県南牧村を中心に広がる高原地帯で、夏場の涼やかな気候を最大限に活用した抑制栽培が行われています。特にレタスの生産量は全国的にも非常に多く、大規模な農業経営が展開されています。
問14	答え 栽培漁業	栽培漁業は、養殖業が生け簀内で最後まで育てるのに対し、自然の海に放流して成長を委ねる点が特徴です。これにより、魚の運動量が増え、より天然に近い状態で収穫できるメリットがあります。
問15	答え 環境モデル都市	環境モデル都市とは、低炭素社会を目指して画期的な取り組みを行う都市です。北九州市は、その経験を活かしてリサイクル技術や廃棄物発電などを推進し、世界的な環境都市として再生しました。
問16	答え プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問17	答え 高知県	高知県は太平洋に面しており、冬でも日照時間が長く非常に温暖です。この気候を活かし、ビニールハウスを用いた促成栽培によって、冬から春にかけてナスやピーマンを京浜や京阪神などの大消費地へ大量に出荷しています。
問18	答え 神奈川県	神奈川県の沿岸部には、京浜工業地帯の主力工場や物流倉庫、研究所が数多く存在します。特に横浜港は、古くから国際貿易港として日本と世界を結ぶ役割を果たしてきました。
問19	答え 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問20	答え 加工組立型	加工組立型工業とは、部品を組み合わせる自動車や機械などの生産を指します。多くの専門的な中小企業が関わることで、高度な製品を効率よく生産できるのが特徴です。